

平成29年度 日本環境変異原学会 公開シンポジウム

「若手が拓く環境変異原研究」

日時:2017年6月10日(土) 9:50 ~16:00

場所:がん研究振興財団 国際交流会館(国立がん研究センター内)
東京都中央区築地5-1-1

主催:日本環境変異原学会

協賛:公益社団法人 日本薬学会

参加費:無料(会員でない方も来聴歓迎)



プログラム

- 9:50 ~ 9:55 開会の辞 :宇野 芳文 (日本環境変異原学会会長/田辺三菱製薬株式会社)
- 9:55 ~10:00 はじめに :増村 健一 (世話人/国立医薬品食品衛生研究所)
- 10:00 ~10:30 DNA損傷応答の可視化と絶対定量による遺伝毒性評価
松田 俊 会員 (富士フイルム株式会社)
- 10:30 ~11:00 DNA付加体形成メカニズム研究を基盤とした乳がん治療薬タモキシフェンの非遺伝毒性化
岡本 誉士典 会員 (名城大学)
- 11:00 ~11:30 化学発がん過程早期のイベントを理解する
石井 雄二 会員 (国立医薬品食品衛生研究所)
- 11:30 ~12:00 大腸炎モデルを用いた大腸における変異原性非発がん物質による腫瘍発生に関する研究
小山 直己 会員 (エーザイ株式会社)
- 12:00 ~13:00 昼食休憩
- 13:00 ~13:30 化学物質によるリン酸化ヒストンH2AXの誘導とその応用
豊岡 達士 会員 (労働安全衛生総合研究所)
- 13:30 ~14:00 発がん高感受性マウスを用いた化学発がん、放射線発がんの機構解明
笹谷 めぐみ 会員 (広島大学)
- 14:00 ~14:30 生態学からみた化学物質汚染:森に棲むアカネズミの研究
石庭 寛子 会員 (国立環境研究所)
- 14:30 ~14:50 休憩
- 14:50 ~15:20 医薬品開発における γ H2AXを指標にしたDNA傷害評価の意義
本山 茂記 会員 (中外製薬株式会社)
- 15:20 ~15:50 「安全性ビッグデータ×アルゴリズム」が拓く環境変異ゲノミクス研究
本田 大士 会員 (花王株式会社)
- 15:50 ~ おわりに : 増田 修一 (世話人/静岡県立大学)

問い合わせ先

シンポジウム世話人

増村健一(国立医薬品食品衛生研究所)

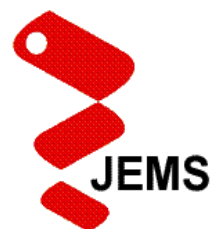
増田修一(静岡県立大学)

〒158-8501 東京都世田谷区上用賀1-18-1

Tel:03-3700-1141(ex280)

FAX:03-3707-6950

E-mail :masumura@nihs.go.jp



最新情報等は日本環境変異原学会HPでご覧下さい。
<http://www.j-ems.org/symposium/2017symposium.html>